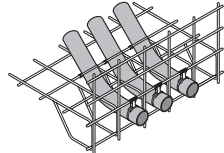


## ZK-45L

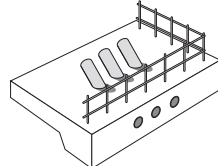
### 1.スリーブ曲管の設置

スリーブ管内の両端を養生テープなどでシールした後、配筋内にスリーブ曲管をセットします。



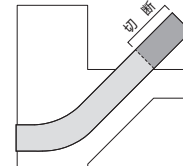
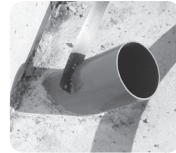
### 2.コンクリート打設

スリーブ曲管の固定後、コンクリートを打設します。



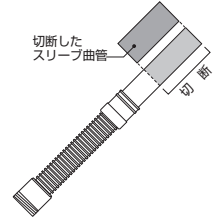
### 3.スリーブ曲管の切断

配管時に突き出しているスリーブ曲管を手ノコやサンダーなどで切断します。



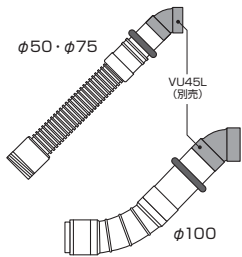
### 4.内管の切断

切断したスリーブ曲管と同一の長さを切断します。



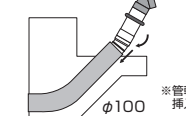
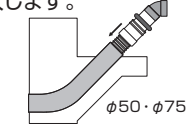
### 5.VU45L(別売)及びスリーブ曲管用シールリングの取付

シールリングを取付後にVU45Lを接着します。



### 6.スリーブ曲管への挿入

内管の部品にゆるみがないことを確認し、屋内側から内管を挿入します。

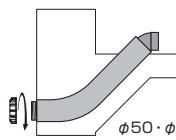


※管軸方向に合わせて挿入してください。

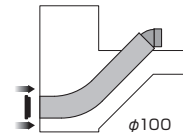
※接続部の「分解禁止シール」が剥がれている場合は、部品のゆるみが生じている可能性があります。その際は、施工前に部品を再度締め直してください。(φ50・φ75)

### 7.スリーブ曲管用固定ナットの取付

手締めで固定ナットを取付けます。

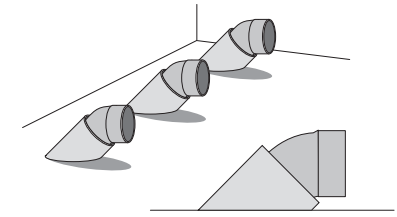


押し戻り防止ゴムリングを取付けます。



### 8.完了

屋内外の配管工事を行います。

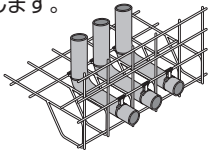


※スリーブ曲管上流側に配管を継ぎ足して使用しないでください。

## ZK-90L

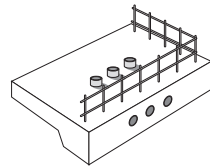
### 1.スリーブ曲管の設置

スリーブ管内の両端を養生テープなどでシールした後、配筋内にスリーブ曲管をセットします。



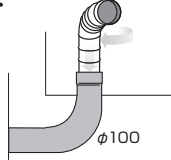
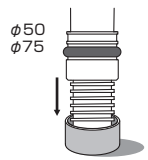
### 2.コンクリート打設

スリーブ曲管の固定後、コンクリートを打設します。



### 4.スリーブ曲管への挿入

内管の部品にゆるみがないことを確認し、屋内側から内管を挿入します。

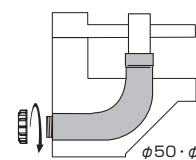


※立上がり基礎と干渉する場合は、ひねりながら挿入してください。

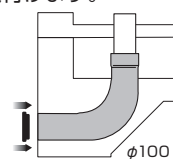
※接続部の「分解禁止シール」が剥がれている場合は、部品のゆるみが生じている可能性があります。その際は、施工前に部品を再度締め直してください。(φ50・φ75)

### 5.スリーブ曲管用固定ナットの取付

手締めで固定ナットを取付けます。

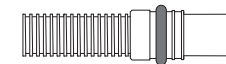


押し戻り防止ゴムリングを取付けます。



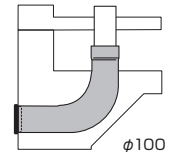
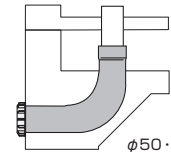
### 3.スリーブ曲管用シールリングの取付

シールリングを取付けます。



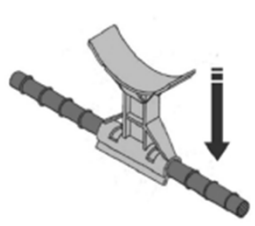

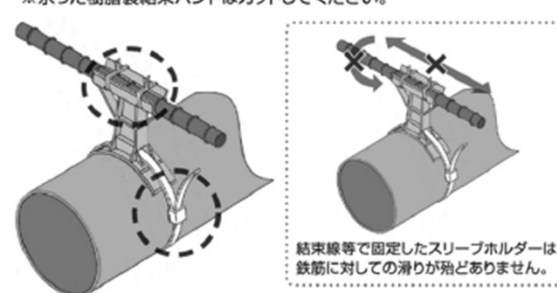
### 6.完了

屋内外の配管工事を行います。



※スリーブ曲管上流側に配管を継ぎ足して使用する場合は、施工前に、内管が挿抜可能なことを確認してください。  
ZK-90L 100にてスリーブ曲管上流側を延長する際は、VU DS125、VU125を使用してください(最大100mmまで延長可能)。

## 【同梱マルチスリーブホルダーの施工手順】

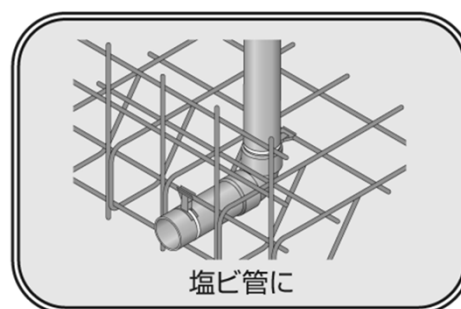
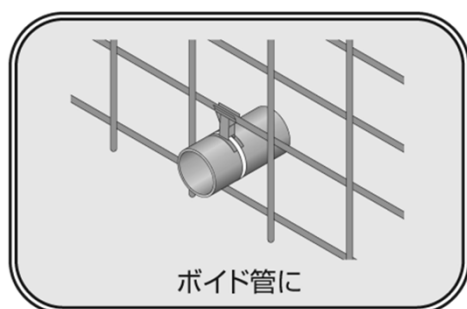
<p><b>1</b> 鉄筋に取り付けます。力が入れやすい上からの取付ができます。</p> 	<p><b>2</b> コンクリート打設時の管の浮上防止として上から固定する方向へ取付けます。 ※下/横からの固定でも使えます。</p> 	<p><b>3</b> マルチスリーブホルダーと鉄筋を結束線等で確実に固定し、その後付属の樹脂製結束バンドを利用して管を固定します。 ※緩い場合はベンチ等で締め上げて固定してください。 ※余った樹脂製結束バンドはカットしてください。</p>  <p>結束線等で固定したスリーブホルダーは鉄筋に対するの滑りが殆どありません。</p> <p>【D16】に取り付ける場合は… マルチスリーブホルダーをD10の補助筋に取付け、その補助筋ごと結束線にてD16の鉄筋に巻き付けてください。</p>
---	--	--



### 注意事項

- マルチスリーブホルダーは配管仮固定部材です。各現場の管理に基づき、適宜、追加の補強・固定をしてご使用ください。
- マルチスリーブホルダーはコンクリート埋設でご使用ください。
- 冬季の施工において過度に結束線を巻付けた場合、ヒビ・割れ等が発生する恐れがあります。
- 誤って使用前に結束バンドを締めってしまった場合には、ロック部を無理に戻したりせずに市販の結束バンドと交換してご使用ください(管を確実に固定するために幅9～13mm、厚み2mm程度、使用管径に合った長さの結束バンドをご使用ください)。
- 保管時は直射日光を避けた状態で保管してください。

## 【ボイド管や塩ビ管の固定にも使用できます】



マルチスリーブホルダー単品でも品揃えしております。  
ご要望の際は、別途お買い求めください。



アロン化成株式会社